

2016年10月7日

「平成28年度航空機事故消火救難総合訓練（第35回）」を 10月20日（木）に実施します！

成田国際空港において、航空機事故が発生したことを想定し、空港内外の関係機関が一体となった各種緊急活動の総合的な手順の習熟を図ることを目的として、下記のとおり消火救難総合訓練を実施します。

記

1 訓練の概要

日時：10月20日（木）13:45～15:45

※台風等の荒天による中止の判断は、当日の10:00までに行います。

場所：成田国際空港内 整備地区エプロン及びA滑走路西側多機能施設

主唱：千葉県

主催：成田市、国土交通省東京航空局成田空港事務所、成田国際空港株式会社

2 参加機関、人員、車両台数

66機関、約1,500名、約300台（緊急車両等）

3 提供航空機 デルタ航空会社 B747型機

※機材は変更になる可能性があります。



平成27年度の訓練模様

4 今年度の特徴

今年度は、従来の訓練内容を踏襲しつつ、新たにA滑走路西側の多機能施設を活用した検視、身元確認訓練を実施。事故発生直後から事態収束までの一連の流れで、より実践的で臨場感のある訓練を目指します。なお、本訓練の重点項目は以下の5点とします。

- 消火・救助活動中における状況変化への対応
- 緊急脱出した搭乗者（自力歩行可能者）に対する安全な避難誘導
- 負傷者情報の確実な把握
- 死亡判定者の搬送及び検視、身元確認 ※A滑走路西側多機能施設で実施
- 災害発生時における緊急車両及び医師等の空港入場、誘導対応